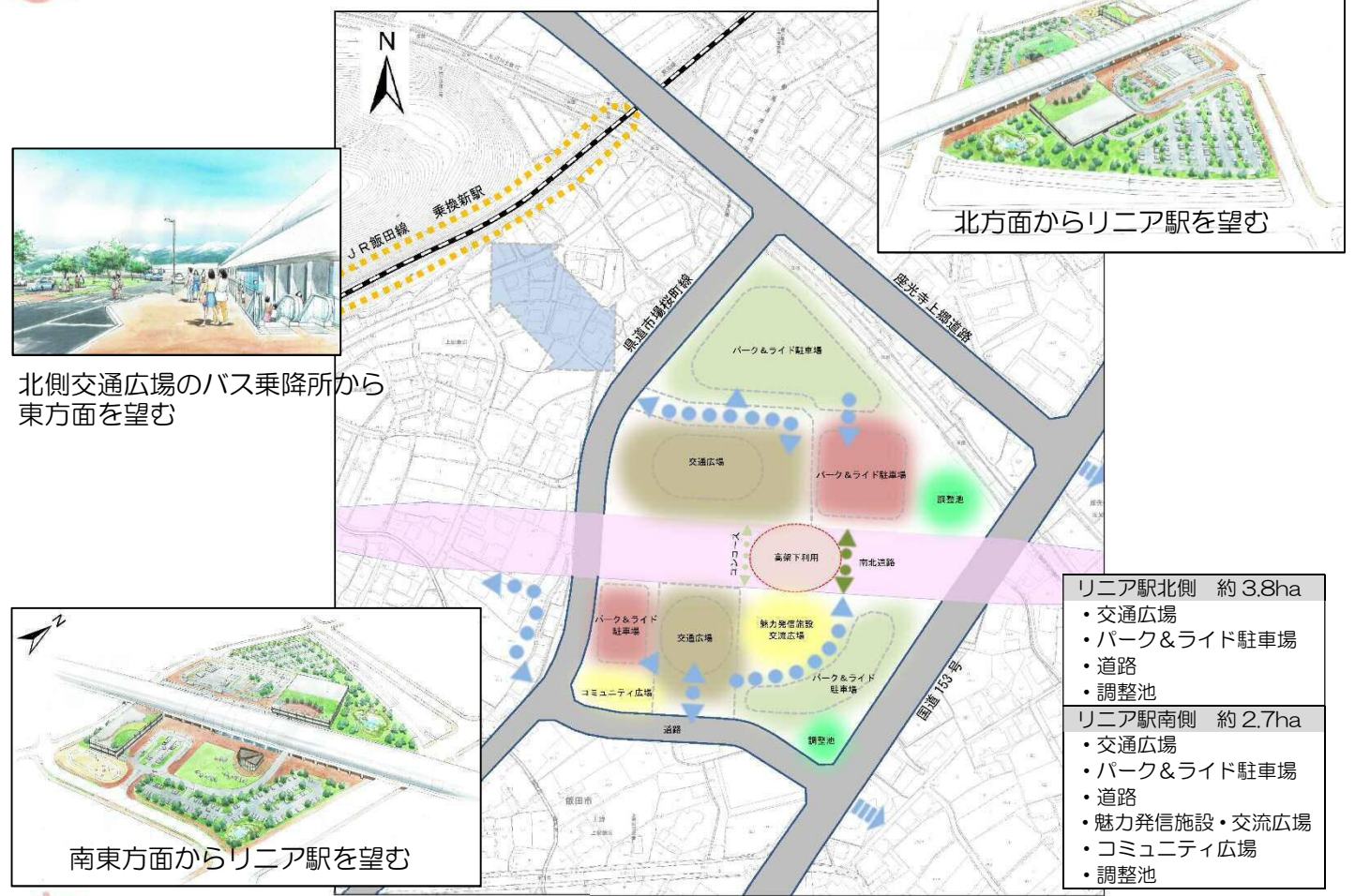


リニア駅周辺整備基本計画（案）

【概要版】

平成29年6月 飯田市

3. リニア駅周辺整備のイメージ



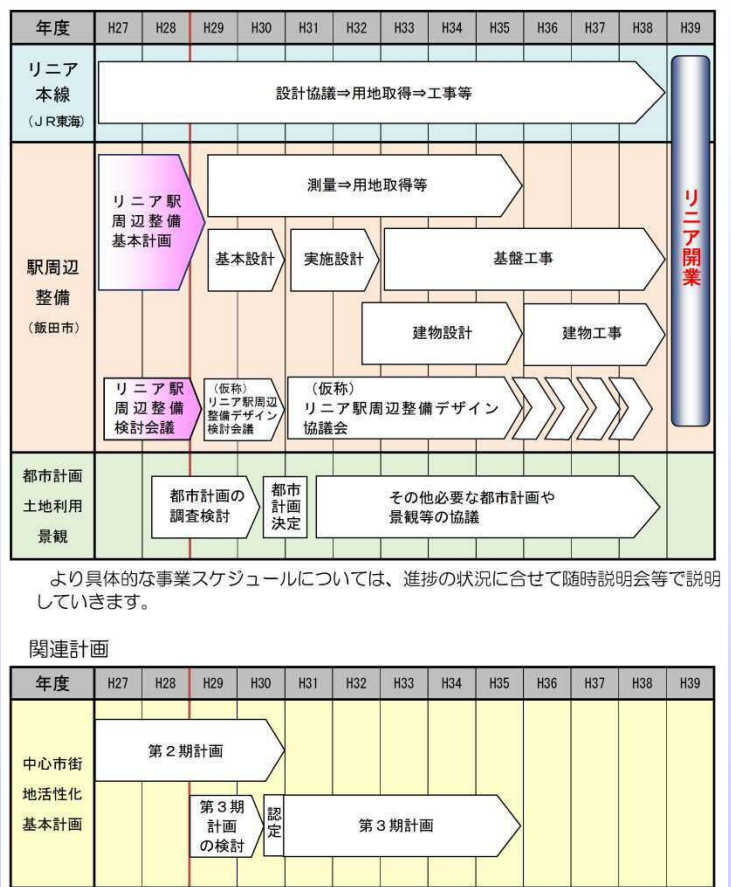
4. 地域への配慮と今後の進め方

■ 地域への配慮

- 長年培ってきた地域コミュニティを今後もなるべく維持できるよう、地元地域と相談しながら駅周辺整備に併せて道路やコミュニティ活動の場を整備します。
- 関係者の生活環境への影響を極力回避・低減できるよう、事業者はもとより工事関係者とも随時調整を図り、安心・安全の確保に努めます。

■ 今後の進め方

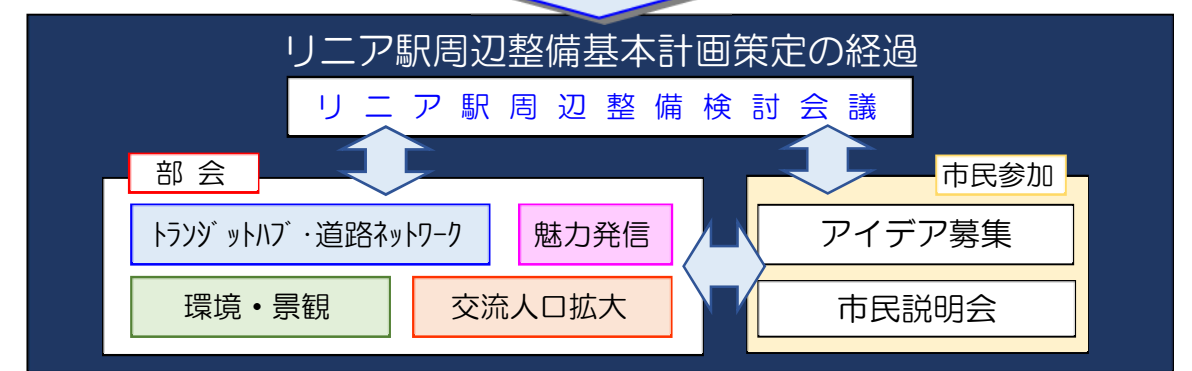
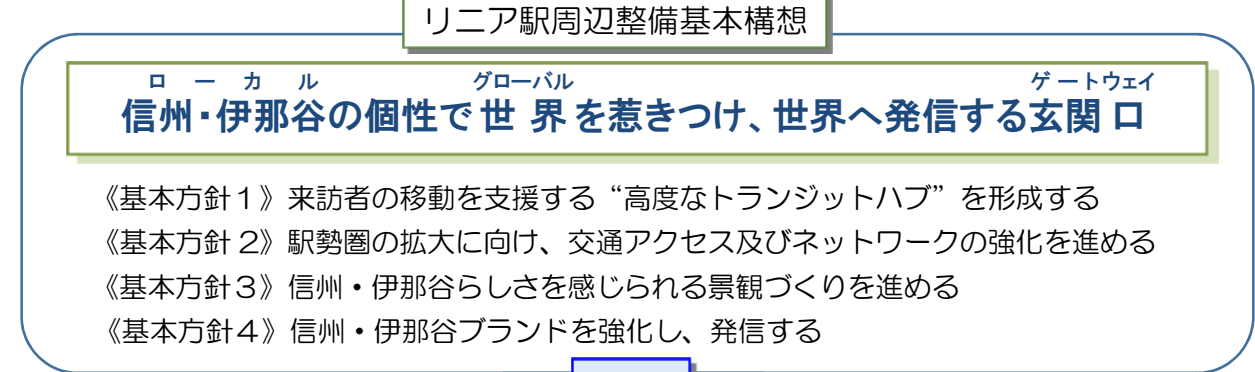
- 基本設計以降も事業の進捗に応じて、説明会や意見交換等の機会を通じた市民参画により、デザインやプロセスを共有しながら、この駅に愛着の持てるような計画を進めます。
- 技術の革新や物事に対する価値観など多様な時代の変化や地域のニーズを捉え、将来への可変性を確保した計画を進めます。



1. はじめに

平成27年6月に「リニア駅周辺整備基本構想」を策定し、リニア駅周辺が目指す姿と4つの基本方針を整理しました。基本計画の策定にあたっては、この「基本的な理念」を継承し、アイデア募集、市民説明会でいただいた意見をリニア駅周辺整備検討会議や4つのテーマ別部会にフィードバックして、具体的な整備コンセプトを設定し、計画規模や施設のあり方の諸条件を定めました。

2. リニア駅周辺整備基本計画策定経過と整備コンセプト



整備コンセプト

- ① 機能的でコンパクトな駅空間
- ② 信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間
- ③ 自然との調和を目指した駅空間
- ④ 地域と一体化した駅空間

留意する項目

- 新たなエネルギーをはじめ、再生可能エネルギーの活用を含めた低炭素な駅空間を目指します
- 将来的な技術革新、来訪者ニーズの変化等に対応できる柔軟性のある施設の検討や、多面的な機能を備えた駅空間を目指します
- 災害時のバックアップに対応する駅空間を目指します

① 機能的でコンパクトな駅空間

■ 高度なトランジットハブの形成によりスムーズな乗換えを実現する

- 各交通機関への円滑な移動を可能にし、乗換利便性が高いコンパクトな駅空間
- 天候バリアフリーやユニバーサルデザインの視点を踏まえた駅空間
- 利用者がくつろぎ、必要な情報に接することができる施設や必要なものを揃えられる駅空間

交通広場

- 利便性の高いコンパクトな交通広場
- 各方面からアクセスしやすい交通広場



各交通手段への円滑な移動と悪天候でも快適に移動できるように整備

日豊本線日向市駅

- 多様な交通手段に対応



各交通手段への乗り換えに配慮した施設配置

つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅のカーシェアリング駐車場

道路

- ラウンドアバウトの導入を検討
- 安全性、円滑性や周辺環境へ配慮して整備

パーク&ライド駐車場

- 環境に配慮し、利用しやすい駐車場を整備
- 駐車場の多面的な利用に対応

乗換新駅

- 広域交通拠点として、JR 飯田線に眺望の丘を併設する新駅設置を検討



駐車場の多面的な利用

普段は駐車場として使っていますが、軽トラ市や人形劇フェスタで賑わっています。観光客だけでなく近所の人たちも集まって大変な賑わいになります。



軽トラネットワークHPより



人形劇フェスタ

② 信州・伊那谷らしさを感じられる駅空間

■ 来訪者へのおもてなしを実現する

- 来訪者を信州・伊那谷各地へ誘い、波及効果を高めるような、地域の魅力や情報を発信する駅空間
- 信州・伊那谷の地場産品や伝統芸能等に触れられる駅空間
- 美しい山並みや日本の原風景とも言える里山の風景を眺望できる駅空間

魅力発信施設

- 来訪者が各地を訪問したくなる仕掛けづくり
- 来訪者及び地域住民の交流の場



お練まつり



天竜川総合学習館 かわらんべ講座

魅力ある伊那谷各地へ誘う魅力発信 <アウトドアのメッカ>

伊那谷は、自然を活かしたアウトドア・アクティビティが豊富です。3000m級登山などの本格的体験から自分流に楽しむグランピング、地形を活かしたラフティングや自転車コース、四季折々のスポーツ、ジオパーク、星空観察、釣り、森林浴など、様々なほんもの体験が楽しめます。都会から近い非日常空間が、そこにはあります。

来訪者が、魅力発信施設や交流広場で魅力の一部を体験でき、駅を起点に伊那谷アウトドア空間へ出発します。駅が魅力あふれる伊那谷へのゲートウェイになります。



交流広場

- 人々が集い、各種イベントが開催できる広場の整備



日豊本線 日向市駅

- 災害時のバックアップ機能を果たせるスペースの整備



仮設トイレ

高架下空間

- 駅利用者をもてなし、観光・交通情報が入手できる総合案内
- リニア利用者のみならず、便利なサービスの提供

高架下空間

改札を出ると信州・伊那谷の歴史、伝統文化や自然をモチーフとしたおもてなしの空間が広がっています。また、カフェでは東京から来たスーツ姿のビジネスマンが商談していたり、地域の皆さんもグループで訪れて、おしゃべりを楽しむ場となっています。



③ 自然との調和を目指した駅空間

■ 豊かな自然環境に配慮し環境モデル都市飯田を実現する

- 新たに作り出される景観と伊那谷の美しい自然が調和した駅空間
- 多面的な機能を持つグリーンインフラが整備された駅空間
- 再生可能エネルギーの活用や低炭素社会の取り組みの場となる駅空間



グリーンインフラ駐車場のイメージ



多自然調整池のイメージ

- グリーンインフラを活用した取組みを検討
- 周辺環境を活かした整備
- 再生可能エネルギーの活用と低炭素化の取組みを検討
- 駅舎及び周辺施設等のデザインを検討
- 環境・景観配慮指針の作成
- 地形の改変を少なくした造成計画
- 多面的に利用できる調整池

④ 地域と一体化した駅空間

■ 地域の一体化を実現する

- 地域住民が日常生活で便利に使える駅空間
- イベントや行事など地域住民がコミュニティ活動の場としても活用できる駅空間
- 防災機能を果たし、非常時には地域住民とリニア駅利用者が安全に避難できるとともに、帰宅困難者にも対応できる駅空間

コミュニティ広場

子どもたちがサッカーや鬼ごっこなどで遊んでいます。地域の行事では住民が集う憩いの場となります。



- 魅力発信施設は、地域住民の日常的な消費活動を支える物販機能を備える
- 地域住民のコミュニティ活動を支える集いの場を検討
- 避難スペースとして有効に活用できる仕組みや利用方法を地域と一緒に検討
- 地域住民が利用するコミュニティ広場の整備